

## ●定光寺冬虫夏草採取レポート



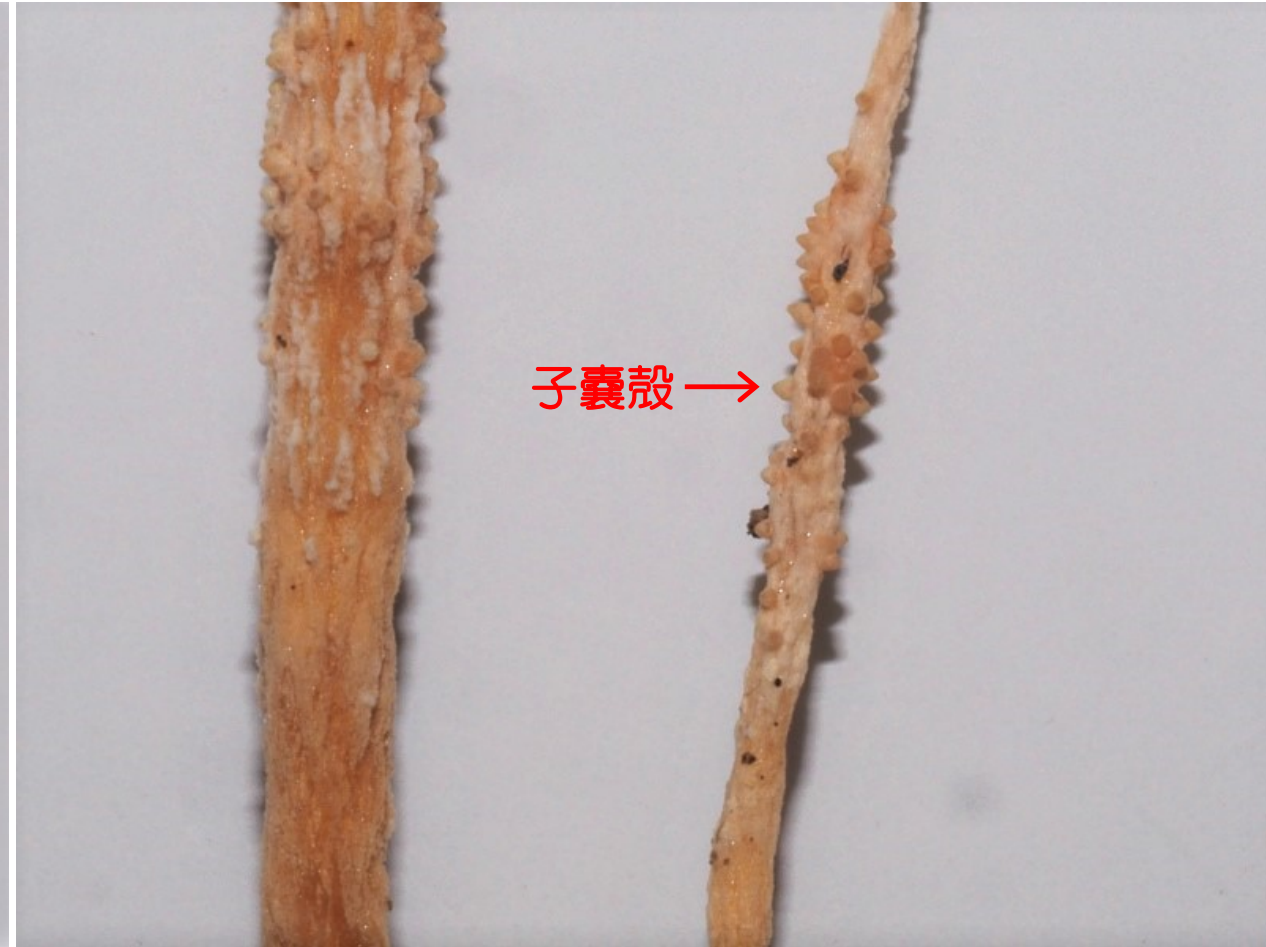
今回は愛知県瀬戸市の定光寺地区で朽木中から発生する冬虫夏草の仲間(埋生型)を採取して参りました。森の中の朽木をくまなく見回しますと隙間から子実体が出ているのを見つける事が出来ます。定光寺では梅雨時から初冬までかなり長い期間見つける事が出来ます。

## ●定光寺冬虫夏草採取レポート②



子実体の下部を丁寧に掘り起こすと宿主(寄生された虫の本体)が現れました。尾部の構造からキマワリの仲間の幼虫でした。この個体は体節の複数箇所から子実体が万遍なく生えていました。

## ●定光寺冬虫夏草採取レポート③



採取した個体を持ち帰りピンセットや筆を使って汚れを落としました(クリーニング)。子実体を拡大して撮影すると、粒状の子囊殻が観察されました。この子囊殻の部分に胞子(子囊胞子)が入った子囊が形成され、成熟すると胞子を周辺に散布します。この個体は成熟が始まったばかりの様でした。

## ●定光寺冬虫夏草採取レポート④



今回も、以前の定光寺観察会の折に観察したハエカビの仲間を見つける事が出来ました。ガガンボの仲間が宿主で、体内に菌糸体が張り巡らされており、体表から胞子(無性胞子)を射出する柄が伸びています。定光寺では初冬に至るまでハエカビの仲間を頻繁に見つける事が出来ます。